

みやけの風

第 237 号

平成17年(2005年)8月27日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cipo.org

各地で猛威を振るった台風11号も26日には日本のはるか東の海上に遠ざかり、東京ではまた、むしむしする天気に戻ってきました。三宅島ではすこし過ごしやすくなったのでしょうか？ 日中の日差しの強さに比べ、朝夕の風の涼しさは格別ですが、8月も末、これからは台風が来るたびに少しずつ秋が近づいてくるのでしょうかね。

みんなの声

帰島支援活動が終わって

2月の避難指示解除から7ヶ月の間、約1,000人の方々が、三宅島へ来島して私たち島民の帰島を支えて下さいました。

雪降る寒い時から雨風の中、そして蝉がミンミンと耳につく猛暑の中を、汗を流しながらの支援活動。ほとんどのボランティアの方々がスコップも初めて、軍手などしたことのない方々が必死になって、私たちの住居の環境整備にご支援下さいました。そのお陰で、今私達は島へ帰ってきた実感をこうして噛みしめながら、三宅島での生活の一步を、ふみ出すことが出来ました。今までは、赤い帽子的ボランティアさんを島のどこかで見かけたり、活動中の旗を見たり「あー、私達にはこうして身近で、応援してくれる人がいるんだ」と、心の底で力強い何かを感じていました。

活動事業終了で、23日全員が船で引き上げて行く姿を桟橋から見送っているながら感謝は勿論ですが、ポカリと心の中で穴が空いてしまっただけではありませんでした。と同時に、せっかく多くの方々に住みよい環境作りをお手伝いしてもらったのだから、これからは、せっかくもらった元気を基にして、島民自身が島作りに努力しなければいけないんだなと、ずっと船上から手を振ってくれている赤い帽

子の皆さんとの、別れを惜しみながらそう感じました。

これから三宅島支援センターでは、「風の家」を開設して、集いの場所を支援して下さいとのこと。大勢の島民の方々が気楽に集まって、少しでも島の中が明るく朗らかな、自らの楽しい島作りをする発端になったら、すごくうれしいと思っています。

5年間支え続けて下さいました多くのボランティアの皆様、いろいろなご支援を寄せて下さいました全国のたくさんの皆さま、本当に有り難うございました。心から御礼申し上げます。

まだまだ自分たちだけで歩いて行く事は心細い気がします。どうぞこれからも皆さんのお力添えをお願いいたします。

(神着 早川マス子)



心から感謝申し上げます

三宅島災害・東京ボランティア支援センターの帰島支援ボランティア活動は、お陰様をもちまして、無事終了いたしました。

2月1日から皆さんと一緒に、帰島と生活の再開のお手伝いをさせていただいたボランティアは900名を超え、延べ数で5300名を数えました。6ヶ月余に亘る島内での活動では、三宅島の皆さまには温かく受け入れていただきまして、本当にありがとうございました。

伊豆の支援センター閉館日には、三宅島災害・東京ボランティア支援センター役員が集まり、今後の復興のお手伝いとして何が出来るかなど話しあうことが出来ました。そして、「日本建築学会三宅島研修所」での「みやけじま<風の家>」の開設について決定させていただきました。

その後、お世話になった「伊豆老人福祉館」に戻り、ここでの最後の食事をそろって済ま

せ、村役場、三宅支庁、警察署ほか関係各機関の方々へご挨拶に伺い、ボランティアは後片付けをして、名残を惜しむ暇もなく、あわただしく錆が浜港に向かいました。

本来であれば、お世話になった皆さまに御礼申し上げるところでしたが、あいにくの台風の接近のため、24日の三宅島帰島支援ボランティアの引き上げの日を一日繰り上げたため、ご挨拶できなかったことが心に残りながら、23日全員が島を離れました。

港では、村長をはじめたくさんの村職員、仲良くしていただいた島の方々の見送りを受け、テープを投げあい、手を振ってしばしの別れを告げました。お見送りいただきました方々、これまでお世話になりました方々、本当にありがとうございました。

9月には、また、「みやけじま<風の家>」でお目にかかることを楽しみにしています。



2005年2月1日の全島避難解除から8月23日まで、島民の皆様にお世話になった三宅島支援センターは、引き続き、島の高齢の方々との交流・くらしを応援する「集いの場」として、島の多くの方々とともに「みやけじま<風の家>」を2005年9月、島内に開設します。

「みやけの風」へのご意見・ご要望を、三宅島支援東京センターまでお聞かせください。